

2023 年度日本ベーシックインカム学会年次大会・

関西地区研究会ガイドブック

目次,1p 各種案内、2p 開催趣旨、申し込みと問い合わせ、3p 第9回関西地区研究会案内 4p 第6回年次大会案内 5p 第10回関西地区研究会案内

日程 第9回関西地区研究会 2023年9月30日(土)

第6回年次大会 2023年12月10日(日)

第10回関西地区研究会 2024年2月10日(土)

主催 日本ベーシックインカム学会 <https://jabi.jp/>

後援 エル・ライブラリー(大阪産業労働資料館) <https://shaunkyo.jp/>



会場 エル・おおさか(左の写真のビル。年次大会は5F視聴覚室、関西地区研究会は研修室1)

会場 HP <http://www.osaka.or.jp>
540-0031 大阪市中央区北浜東3-14
TEL 06-6942-0001

京阪電車・地下鉄谷町線天満橋駅下車、土佐堀通沿い西へ約300m、日本郵政近畿支社ビルのすぐ東の建物。下の写真の建物(左下に地図)エル・おおさかには地下駐車場

もありますが、有料ですので、極力、公共交通機関をご利用ください。京阪・地下鉄堺筋線北浜駅からでも、東へ約500m、地下鉄谷町線、堺筋線南森町駅、JR東西線大阪天満宮駅からでも、800m程度です。

エル・おおさか利用での注意事項。館内には飲食店はありません(パン自販機が南館の1Fにあり)。飲料自販機は各階にあります。お弁当・



おにぎりの持ち込み飲食は構いませんが、ゴミ箱は飲料用しかありませんので、ゴミはお持ち帰りください。土日は周辺の飲食店がお休みの所が多いです。土曜開店はエル・おおさかから徒歩1分のカレー店の「クミンソウル」エル・おおさか裏にステーキランチの「TATEYA」、日曜開店はエル・おおさか南北大江公園側に「チアリ食堂、<http://www.cheerly.jp/index.html>」12時開店のお店あり、弁当予約可)なお午後の部で一般研究発表の方は、お昼は館内に止まり発表の準備をお願いします。)

日本ベーシックインカム学会年次大会・関西地区研究会

共通テーマ「労働のあり方とベーシックインカム」

開催趣旨 2018年12月に正式発足し、2019年3月に筑波学院大学で第1回年次大会を開催し、これまでに5回の年次大会と、4回の学会誌『ベーシックインカム研究』の発行と、関東、関西、北海道地区の地域研究会、富山での関西：関西地区合同研究会の開催、2022年2月からは、ZOOMを用いたオンライン学習会を開催して来ました。

生存権や、危機の時代、デジタル社会などのテーマ設定をしてきましたが、学会発足から今日まで、AIの普及で「仕事が無くなる」ということを前提にしたベーシックインカム論の台頭の一方で、2020年からの新型コロナの流行で、それに対応した現金支給が相次ぎ、ベーシックインカムにつながる指摘の一方で、介護や清掃などをエッセンシャルワークとして、ケアインカムを求める意見や、どうでもいい仕事が高い報酬を得ている問題が浮上。「仕事が無くなる」前提の中で、日本では逆に少子高齢化の中で人手不足の深刻化もあり、ボランティアや家事労働が無償でいいのかなど、働くことについて、再考を要する局面を迎えています。そこで、2023年度の日本ベーシックインカム学会の年次大会と関西地区研究会の共通テーマを「労働のあり方とベーシックインカム」とし、ゲスト講師もそのテーマに沿った先生方にお越しいただくこととなりました。どうかよろしく願いいたします。

2023年 7月7日

日本ベーシックインカム学会年次大会・関西地区研究会事務担当 山中鹿次

参加費

関西地区研究会 会員は無料、一般の方は千円です。(後日、アーカイブ配信予定。視聴は会員無料、一般千円です)

年次大会 会員は無料、一般の方は二千元です。(同時配信予定ですが、配信が途切れがちですので、極力現地参加をおすすめします。後日、アーカイブ配信予定。視聴は会員無料、一般は千円) アーカイブ配信も、同時配信も現地参加の参加申し込み先ではなく、学会ホームページに申し込み先を掲示しますので、随時ご確認ください。当日参加も可能ですが、極力、席数や資料の関係で予約をお願いします。

<https://jabi.jp/>

申し込み・問い合わせ

すべて右記のメールアドレスへ yamashika0217@gmail.com

山中鹿次方(やまなか しかつぐ)へ当日参加もできますが、極力、事前申し込みしてください。取材の申し込みも上記アドレスまで。「年次大会」「第9回研究会」「第10回研究会」と件名をつけて、申し込みと問い合わせを。マスコミ取材の場合は、所属もお伝えください。新型コロナ流行の度合いや、災害対応などでのプログラム変更の可能性もあるので、随時学会ホームページのご確認をお願いします。<https://jabi.jp/>

第9回日本ベーシックインカム学会関西地区研究会

開催日 2023年9月30日(土) 会場 エル・おおさか 5F 研修室1

予定プログラム 午後0時50分受付開始。



午後1時20分、山中鹿次(本学会理事)閉会挨拶に続き「労働の価値の多様化とベーシックインカム問題」午後2時頃まで。

休憩後、午後2時10分～午後3時10分

伊田久美子先生(左、写真)、『家事労働に賃金を』翻訳者、インパクト出版会刊。大阪府立大学名誉教授、現在、大阪公立大学女性学研究センター学外研究員)講演題名「家事労働に賃金を-1970年代から

今日まで。-女性の社会進出問題と関連して-

休憩後、午後3時20分頃から午後4時半頃まで、質疑応答と意見交換。参加費、会員無料、一般は参加費千円。後日、アーカイブ配信予定(会員無料、非会員は千円)

以下は事前に一読していただきたい資料です。単行本は図書館の蔵書検索をご活用ください。伊田先生の「家事労働に賃金を」の専門論文です。(世界人権問題研究センター紀要)

[../Desktop/201507020007\(847KB\).pdf](#) [伊田久美子先生世界人権研究センター紀要論文.pdf](#)

伊田先生の女性と就労についての論文です。ダウンロードして読めます。いずれも大原社会問題研究所雑誌に掲載のものです。

[../Desktop/680-04.pdf](#) [伊田久美子 2015 年大原社会問題研究所雑誌女性の貧困論文.pdf](#) [../Desktop/771_02.pdf](#) [伊田先生、2023 年 1 月論文.pdf](#)

また関連資料で法政大学の堅田香緒里先生の論文です。女性にとってのベーシックインカム支給は「口止め料」か「解放料」かの論文と、ベーシックインカムとケアについての論文です。最初の論文は社会政策学会のシンポジウムの内容に加筆したものです。

[2_KJ00008330246.pdf](#) [堅田香緒里 2010 年社会政策 BI 論文.pdf](#)

[../Desktop/堅田香緒里ベーシックインカムとケア論文.pdf](#)

(「ベーシックインカムとケア」は『家族研究年報』42に掲載されています)

同志社大学の山森亮先生の、2022年2月の酒井隆史先生のご講演でも話題になる大原社会問題研究所雑誌でのD グレーバーの特集号での、イギリスでの家事労働に賃金を求める運動についての論文です。

第9回関西地区研究会と、第6回年次大会前にも是非お読みください。

[760_03_1.pdf](#) [山森亮 2022 年大原社会問題研究所雑誌 BI 論文.pdf](#)

申し込みと問い合わせは2pを参照してください。なお台風シーズンですので、台風襲来の場合の変更の可能性があるので学会ホームページを随時ご確認を <https://jabi.jp/>

第6回日本ベーシックインカム学会年次大会

開催日 2023年12月10日(日) 会場 エル・おおさか 5F 視聴覚室

予定プログラム 午前9時頃から受付開始。午前9時40分から樋口浩義理事長、開会挨拶に引き続き基調報告「日本ベーシックインカム学会の活動の回顧とこれから」10時15分頃まで。10時20分頃～12時頃まで一般研究発表午前の部。午後1時まで休憩（オンライン不具合や、発表質疑が長引くと、多少お昼休憩の短縮があります）

一般研究発表午後の部。午後1時～2時半。



午後2時40分から基調講演。酒井隆史先生（大阪公立大学教員、大阪公立大学女性学研究センター運営委員『ブルシット・ジョブの謎 クソどうでもいい仕事はなぜ増えるか』講談社、他著者）講演題名「ブルシットジョブとベーシック・インカム」午後3時40分頃まで。休憩後、3時50分頃～午後4時40分頃にかけて質疑応答、意見交換。午後4時40分～午後4時45分、閉会挨拶後終了。

参加費、会員は無料、一般は二千元。オンライン参加は千円（アーカイブ配信予定です。同時配信が不具合の場合はオンラインを視聴してください）＊オンラインは途切れることがあるので、極力現地参加をお勧めします。一般研究発表の題目、発表者氏名は9月20日前後に確定、発表いたします（発表人数で、午後の一般研究発表の終了時間は若干調整はありますので、学会ホームページや、最終プログラムでお伝えします）。

以下は事前にご一読をお勧めの図書資料です。演者紹介で代表的著書として、紹介していますが、『ブルシット・ジョブの謎 クソどうでもいい仕事はなぜ増えるか』（講談社現代新書）は、この本の第7講、第8講は今回の講演で重要な部分で、新書本で入手もしやすいので、是非入手してください。

次に酒井隆史先生らが監訳されたD グレーバーの『ブルシット・ジョブ クソどうでもいい仕事の理論』（岩波書店）があり、本学会の『ベーシックインカム研究』4号の82～85ページにこの本の書評があります。酒井先生のベーシックインカムと関連する著書としては財源問題で関連する『負債論 貨幣と暴力の五千年』（以文社）。今、品切れで入手困難ですが、ベーシックインカムを世間がまだあまり認識していない2006年段階でベーシックインカムを特集した『VOL2』（以文社）があり、山森亮先生らと対談されています。なお今年になって刊行された図書としては、『賢人と奴隷とバカ』（亜紀書房）があります。

年次大会の申し込みと問い合わせ先は2pを参照してください。

第10回日本ベーシックインカム学会関西地区研究会

開催日 2024年2月10日(土) 会場 エル・おおさか研修室1

予定プログラム 午後0時50分頃から受付開始。午後1時20分 山中鹿次。開会挨拶と「2023年日本でのベーシックインカムの動き」午後2時頃まで。休憩後、午後



2時10分～3時10分 玉井金五先生。(大阪市立大学名誉教授、前愛知学院大教授、元社会政策学会代表幹事

『防貧の創造-近代社会政策論研究-』他著者)

講演題名

「日本における労働、社会政策の課題-ベーシックインカムよりもやるべきこと」休憩後、午後3時20分～午後4時半頃まで、質疑応答、意見交換。

参加費、会員無料、一般千円。後日アーカイブ配信予定(会員無料、非会員千円予定)

以下、参考にしてほしい文献資料を提示します。玉井先生と西村万里子先生との共著論文で、「社会保障改革の政治経済学」(『社会政策』1-2に掲載)

[1_KJ00008330130.pdf](#) 玉井・西村 2007 社会政策論文.pdf

また単著で『防貧の創造-近代社会政策論-』(啓文社)が、貧困問題を考える時に必読の図書です。大森真紀先生との共編『社会政策を学ぶ人のために』(世界思想社)は何度か再版と改訂されている、社会政策を学ぶための教科書的存在の本としてお勧めします。また最近の著作としては『共助の稜線「増補版」』(法律文化社、2022年)がございます。

なお申込みと問い合わせは2pをご覧ください。

2023年度日本ベーシックインカム学会年次大会・関西地区研究会ガイドブック

2023年7月7日編集・発行

編集・発行 山中鹿次(日本ベーシックインカム学会関西地区研究会事務担当)

yamashika0217@gmail.com

正式なプログラム発行は11月頃を予定しています。日本ベーシックインカム学会ホームページでご確認ください。

<https://jabi.jp/>